



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所
 コード番号 4393 URL <https://www.boi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	9,090	△3.6	1,552	△5.6	1,572	△5.7	1,008	18.7
2025年9月期第3四半期	9,427	△12.5	1,644	23.4	1,666	22.9	849	△0.2

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 1,008百万円(18.7%) 2025年9月期第3四半期 849百万円(△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	253.68	—
2025年9月期第3四半期	213.76	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,278	6,824	82.4
2025年9月期	7,943	5,816	73.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 6,824百万円 2025年9月期 5,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

2026年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	4,003,000株	2025年9月期	4,003,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	28,757株	2025年9月期	28,757株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	3,974,243株	2025年9月期3Q	3,974,370株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2026年1月～3月期の実質GDP成長率が2四半期連続のプラス成長となるなど、景気には緩やかな回復の動きも見られます。しかしながら、継続する物価高による実質的な購買力の伸び悩みから、消費者が景気回復を実感しにくい状態が続いており、足元の消費者マインドも弱い動きとなるなど、指標と生活実感の間にギャップが残る状況でした。今後は、雇用・所得環境の改善がこうした状況を好転させることが期待されますが、先行きの物価動向や米国の通商政策、依然として緊迫感の続く中東情勢などが景気を下押しするリスクとなっており、政府による対応や金融資本市場の変動等を注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2025年における世界のモバイルゲーム市場規模は12兆6,001億円、そのうち日本国内では1兆6,634億円と引き続き高い水準にあります（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2026」）。

このような事業環境のもと、当社グループは、主力タイトルである『メメントモリ』を中心とした既存アプリの運営に取り組むとともに、中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び開発体制のさらなる強化を進めてまいりました。当第3四半期連結会計期間においては、『メメントモリ』の3.5周年施策をはじめ、アートショップの開催やライブ映像の公開など、ファンとの関係強化を目的とした様々な施策に取り組みました。こうした施策を実施する中、売上高は直前四半期比で増加しました。また、2026年6月15日に「メメントモリWebストア」を公開し、アプリ外決済サービスを本格的に開始しました。アプリ外決済の利用比率が高まることで、従来のアプリストア経由の決済と比較して決済コストの低減が見込まれることから、今後の営業利益率の改善に寄与するものと考えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,090百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は1,552百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益は1,572百万円（前年同四半期比5.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,008百万円（前年同四半期比18.7%増）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,417百万円減少、有価証券が1,500百万円増加、敷金及び保証金が222百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ673百万円減少いたしました。これは主に、未払金が73百万円減少、未払法人税等が590百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,008百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、高品質なゲーム及びサービスの開発、世界同時運営及びグローバルIP展開等によって、数年ごとに年間売上高を数倍の規模に引き上げていくことを目指しております。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,186	2,769
売掛金	1,522	1,464
有価証券	1,200	2,700
その他	236	263
流動資産合計	7,145	7,196
固定資産		
有形固定資産	81	133
無形固定資産	1	10
投資その他の資産	715	937
固定資産合計	797	1,081
資産合計	7,943	8,278
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	13	—
未払金	865	792
未払法人税等	733	142
その他	415	418
流動負債合計	2,027	1,353
固定負債		
その他	100	100
固定負債合計	100	100
負債合計	2,127	1,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	4,647	5,655
自己株式	△109	△109
株主資本合計	5,816	6,824
純資産合計	5,816	6,824
負債純資産合計	7,943	8,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,427	9,090
売上原価	4,718	5,135
売上総利益	4,708	3,955
販売費及び一般管理費	3,064	2,402
営業利益	1,644	1,552
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	15
その他	20	4
営業外収益合計	24	19
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	1,666	1,572
税金等調整前四半期純利益	1,666	1,572
法人税等	817	564
四半期純利益	849	1,008
親会社株主に帰属する四半期純利益	849	1,008

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	849	1,008
四半期包括利益	849	1,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849	1,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	11百万円	16百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。